環境表示計　操作方法

① 添付の電源ケーブル（3Pコネクター付）を本器の下部面のコネクター部に差し込みます。
（コネクターの外側を回して固定して下さい）

差し込んだらリングを
廻して固定して下さい

② 電源ケーブルのプラグを商用電源（AC100V）のコンセントに差込ます。

③ 本器の扉を開け内部に設置されている電源スイッチをONにします。

電源スイッチ

表示スイッチ
（機種によっては
下部面に付いてい
ものが有ります）

④ 電源ONで制御装置は通電状態になりますが、騒音計、振動計の電源はONになりません。

⑤ 騒音計、振動計のPowerボタン（ピンクのボタン）を約2秒間押す事によりONになります。
（OFFにする時も同様に約2秒間位押してください。）

POWERボタン

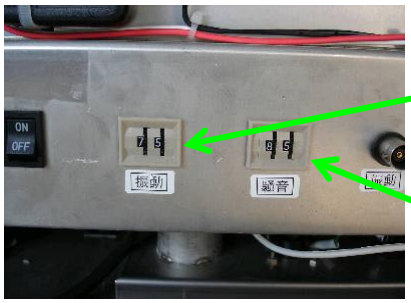
⑥ 夜間など作業を停止する時は、内部に設置されている表示スイッチをOFFにして下さい。
表示部（数値）とパトランプのみOFF（消灯）になります。
制御部と騒音計、振動計はONの状態ですのでデータは記録できます。

⑦ 再度表示を開始する時は表示スイッチをONにして下さい。

⑧ 騒音計、振動計には指定の乾電池を内蔵しております、商用電源100Vが停電した際は乾電池でバックアップしますので、データは記録できます。 但し、その時間は各々の取扱説明書を参照してください。（目安として新品のアルカリ乾電池で約1日です）
なお、制御部と表示はOFFになります。

⑨ 停電復帰後は元の電源ラインに戻ります。（騒音計、振動計）また、制御部、表示部もONになり動作を開始し、表示が点灯します。

⑩ 本器での警報装置の設定値は内部のパトランプ設定SWで任意に設定出来ます。



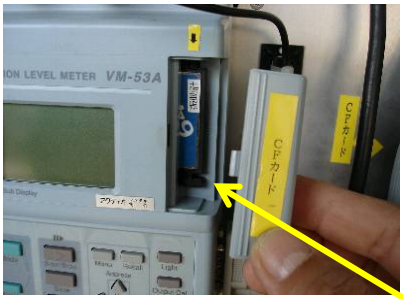
振動設定スイッチ

ツマミを上下に動かして数値を変更して下さい。

騒音設定スイッチ

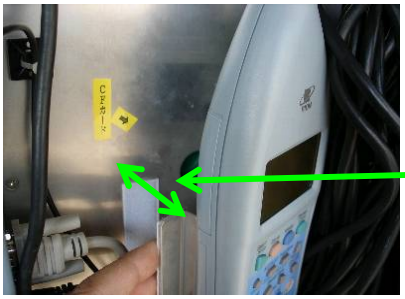
⑪ 全体のシステムを終了させるには本体内部の電源スイッチをOFFにし、騒音計、振動計の
Powerボタンを約2秒間押してください。

⑫ 本器は騒音計、振動計の内部にメモリーカードをセットしてデータを保存し、
オフラインで日報や週報作成をする為、CDによるテンプレートを添付しております。
必要に応じて日々のテータを整理する事が可能です。



振動計

下の黒いボタンを押すと
メモリーカードが抜けます

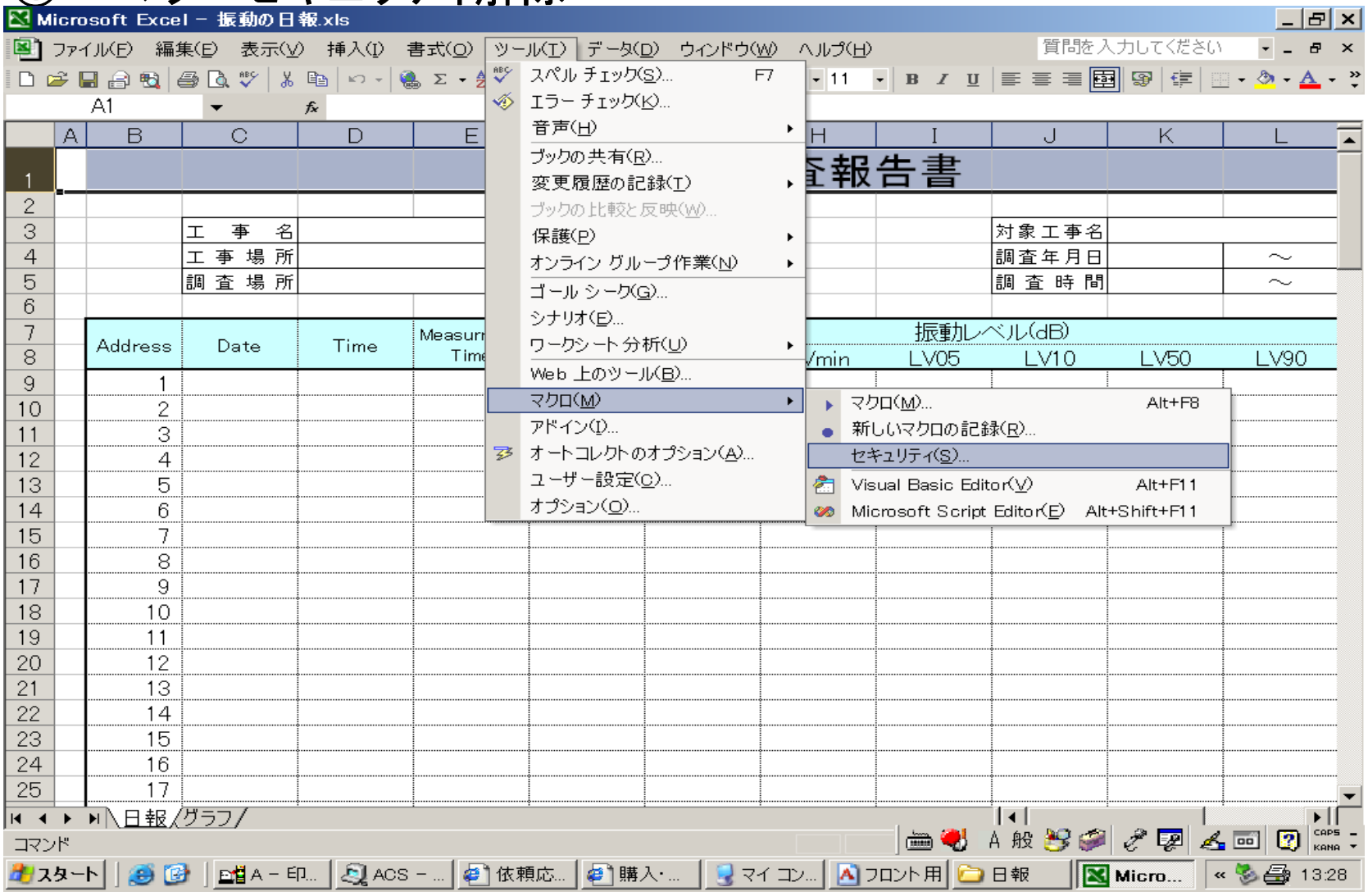


騒音計

手前に引く

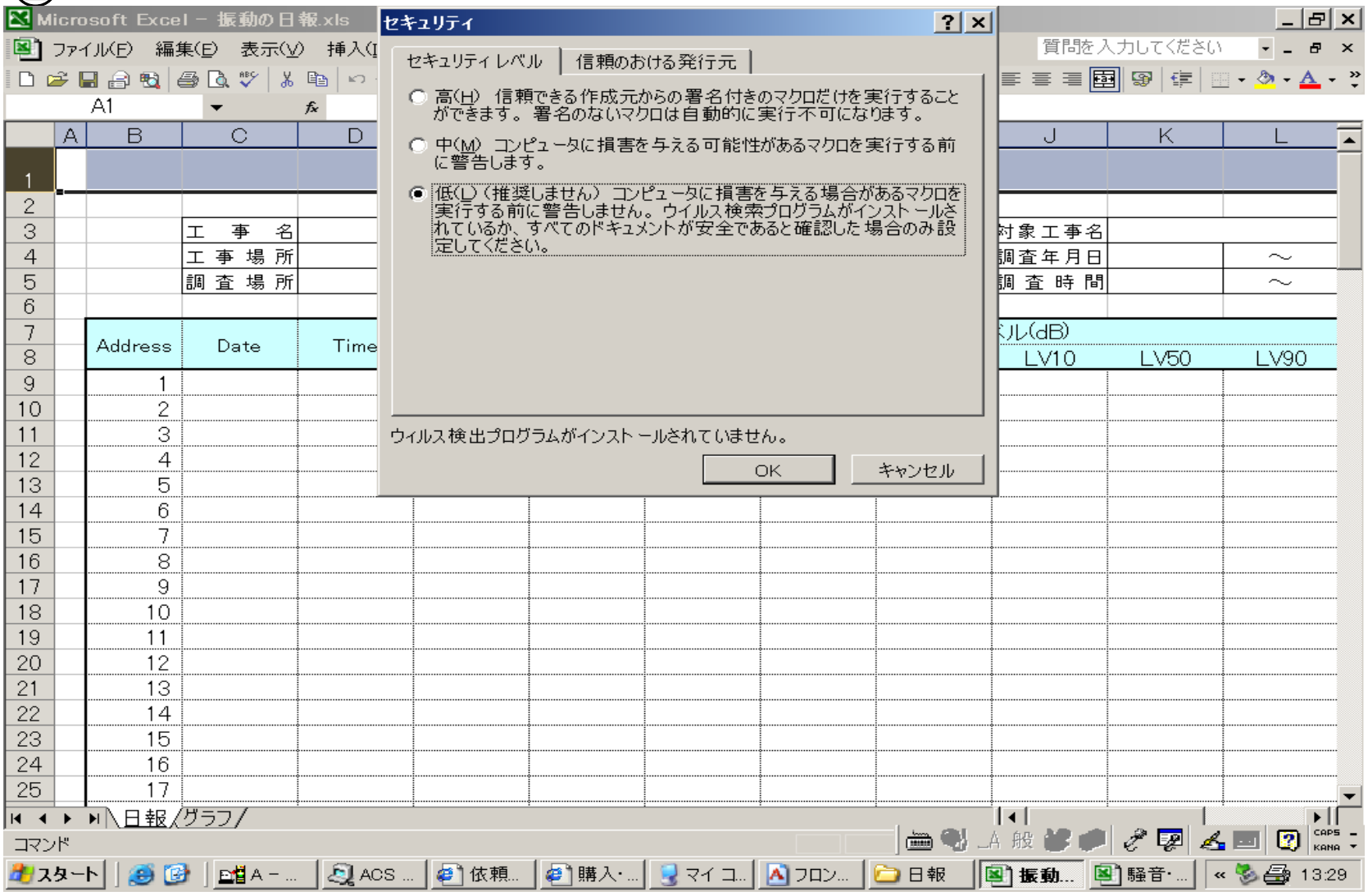
⑬ 内部メモリーとは別にアナログデータを必要な場合は騒音計、振動計の端子から直接
AC又はDCのデータを得る事が出来ます。
（内部メモリーによるデータ取得については、別途説明書を参照してください）

①　マクロセキュリティ解除



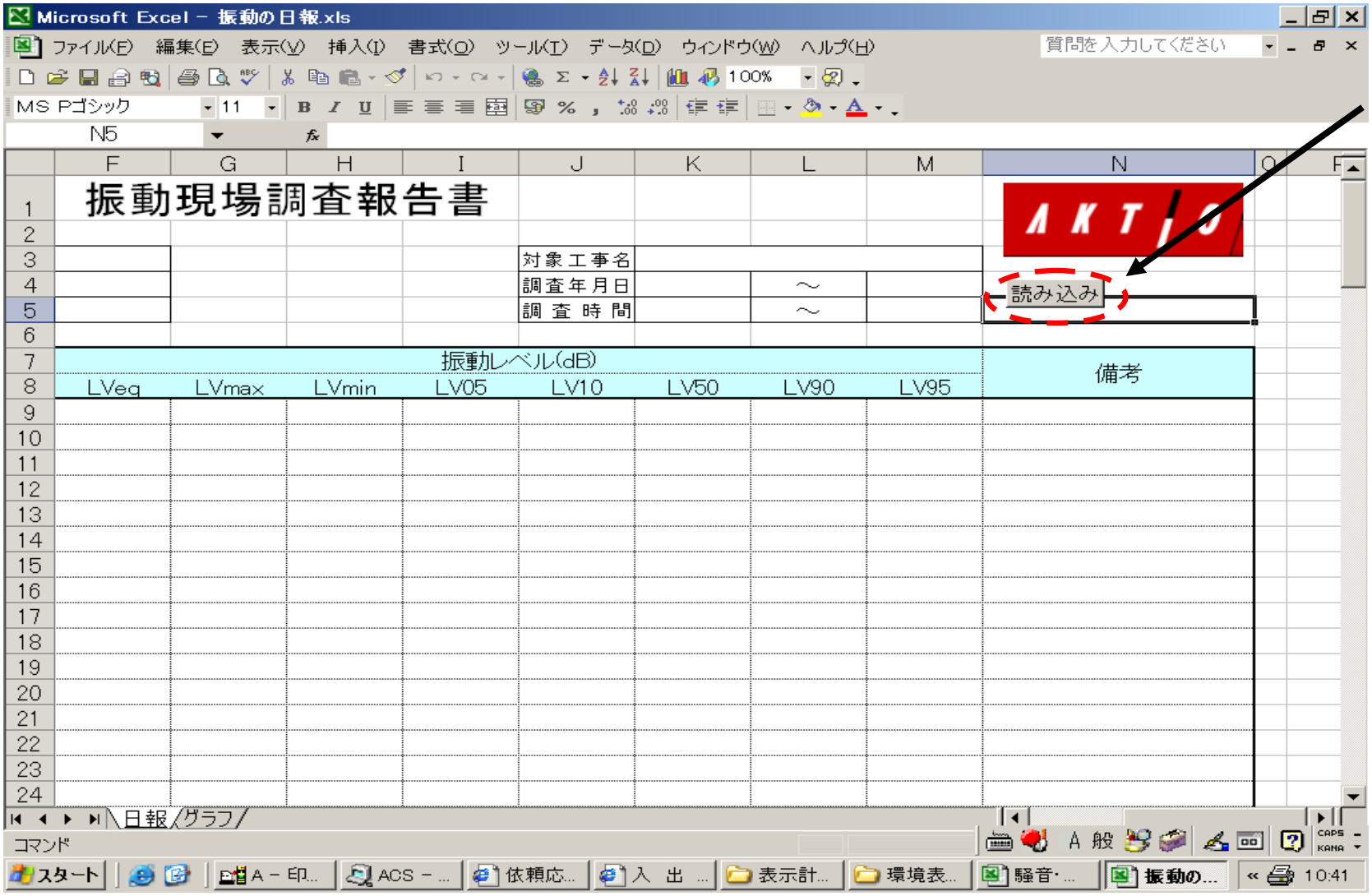
1、エクセルを使用する際セキュリティについての表示が出た場合はツールバー→マクロ→セキュリティを選択。

②



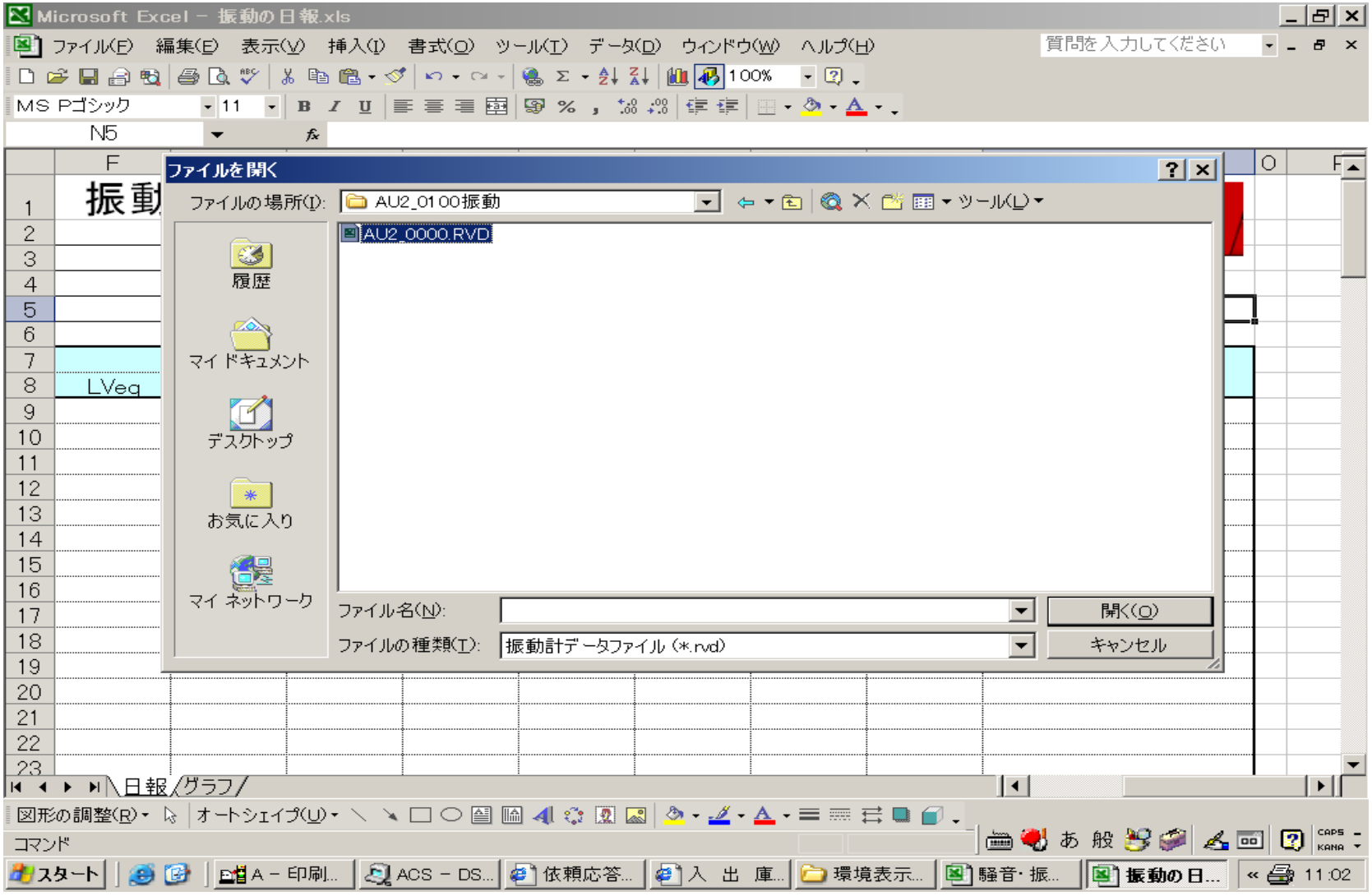
2、セキュリティレベルの中から（低）を選択します。
OKをクリックします。

③ テンプレートの利用方法（振動・騒音データ）



3、エクセルの振動・若しくは騒音を立ち上げます。それぞれ右上に読込みボタンがあるので選択します。

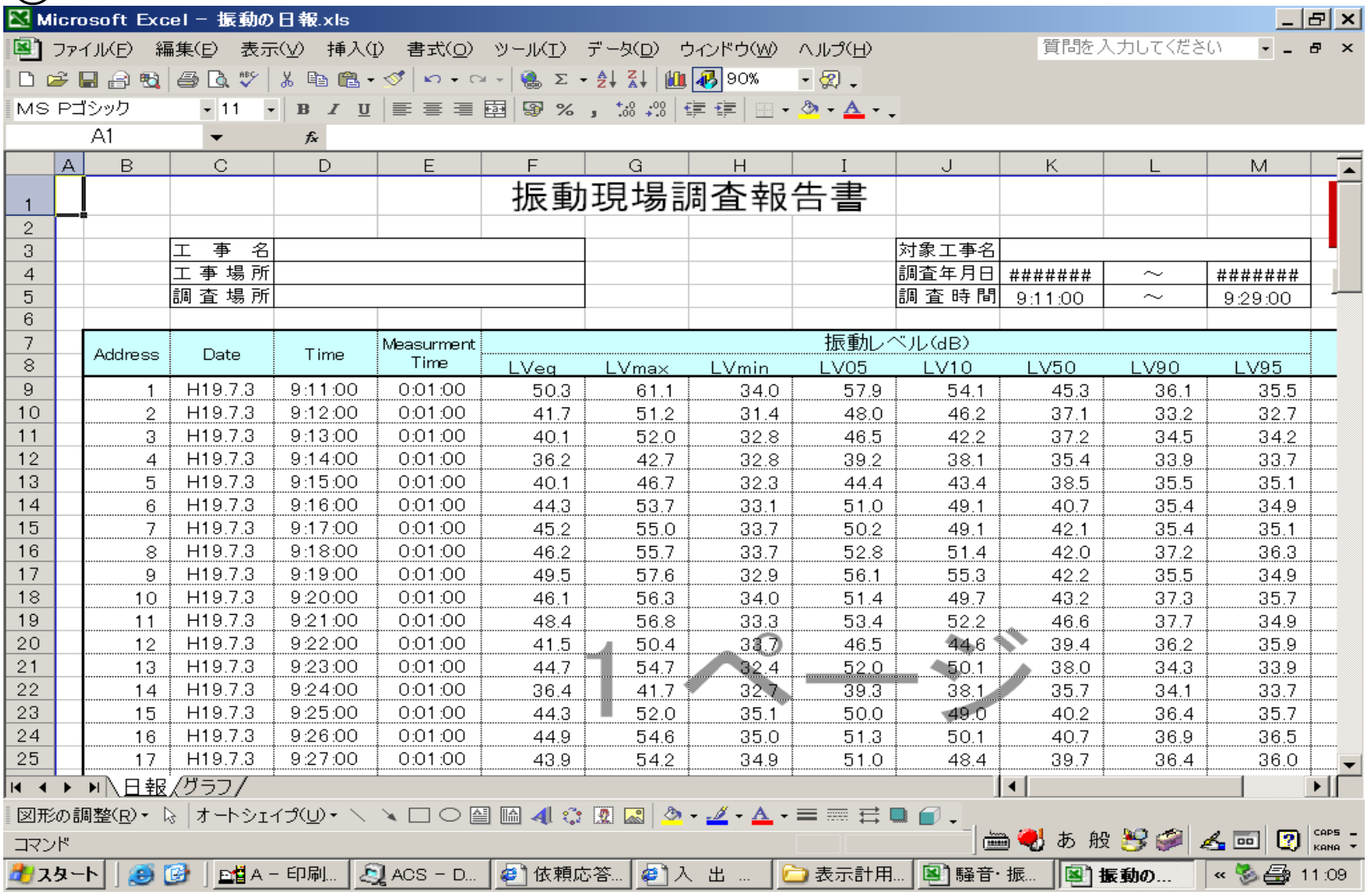
③－２



3、すると計測したデータの保存先を聞いてきますので立ち上げたシートに対応したデータを指定してください。

- 振動ならRVDシート
- 騒音ならRNDシート

③－3



Address	Date	Time	Measurment Time	振動レベル(dB) LVeq	LVmax	LVmin	LV05	LV10	LV50	LV90	LV95
1	H19.7.3	9:11:00	0:01:00	50.3	61.1	34.0	57.9	54.1	45.3	36.1	35.5
2	H19.7.3	9:12:00	0:01:00	41.7	51.2	31.4	48.0	46.2	37.1	33.2	32.7
3	H19.7.3	9:13:00	0:01:00	40.1	52.0	32.8	46.5	42.2	37.2	34.5	34.2
4	H19.7.3	9:14:00	0:01:00	36.2	42.7	32.8	39.2	38.1	35.4	33.9	33.7
5	H19.7.3	9:15:00	0:01:00	40.1	46.7	32.3	44.4	43.4	38.5	35.5	35.1
6	H19.7.3	9:16:00	0:01:00	44.3	53.7	33.1	51.0	49.1	40.7	35.4	34.9
7	H19.7.3	9:17:00	0:01:00	45.2	55.0	33.7	50.2	49.1	42.1	35.4	35.1
8	H19.7.3	9:18:00	0:01:00	46.2	55.7	33.7	52.8	51.4	42.0	37.2	36.3
9	H19.7.3	9:19:00	0:01:00	49.5	57.6	32.9	56.1	55.3	42.2	35.5	34.9
10	H19.7.3	9:20:00	0:01:00	46.1	56.3	34.0	51.4	49.7	43.2	37.3	35.7
11	H19.7.3	9:21:00	0:01:00	48.4	56.8	33.3	53.4	52.2	46.6	37.7	34.9
12	H19.7.3	9:22:00	0:01:00	41.5	50.4	33.7	46.5	44.6	39.4	36.2	35.9
13	H19.7.3	9:23:00	0:01:00	44.7	54.7	32.4	52.0	50.1	38.0	34.3	33.9
14	H19.7.3	9:24:00	0:01:00	36.4	41.7	32.7	39.3	38.1	35.7	34.1	33.7
15	H19.7.3	9:25:00	0:01:00	44.3	52.0	35.1	50.0	49.0	40.2	36.4	35.7
16	H19.7.3	9:26:00	0:01:00	44.9	54.6	35.0	51.3	50.1	40.7	36.9	36.5
17	H19.7.3	9:27:00	0:01:00	43.9	54.2	34.9	51.0	48.4	39.7	36.4	36.0

1ページ

3、すると計測データが表とグラフ(となりのシート)に数値が反映されます。

必要事項を入力し名前をつけて保存などで、保管します。

＊ 1シートあたり点数(行)109点までしか収まりません。

騒音・振動計の値の簡易説明表

表記		騒音計での呼び名	振動計での呼び名	簡易説明内容
LA・LV		定常騒音	定常レベル	通常のdBで測定された時の数値
Leq		等価騒音	パワー平均レベル	人間が受けるダメージを数値化した値
Max		最大値	最大値	時間設定した時に測定した値の最大値
Min		最小値	最小値	時間設定した時に測定した値の最小値
PK		波形ピーク値	波形ピーク値	音振圧の最大値。通常は使いません
LV・LA	5	5% 時間率騒音レベル	5% 時間率振動レベル	ある一定時間の計測方法においてその時間内の〇%（秒に換算）時間内の計測値を表示 例）15分計測で5%なら45秒となりその45秒間内の計測値を表示します。
	10	10% 〃	10% 〃	考え方は上記と同様で上位10%の数値を示す
	50	50% 〃	50% 〃	考え方は上記と同様で上位50%の数値を示す
	90	90% 〃	90% 〃	考え方は上記と同様で上位90%の数値を示す
LE		単発騒音暴露レベル	パワー合計値	極めて短い時間の大きな数値を出す値